

高活協通信(2026年2月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■高活協通信2月号をお届けいたします。

1月23日(金)高市内閣総理大臣は、衆議院を解散し、選挙日は、2月8日(日)という短期決戦の選挙を各党は戦うことになりました。

今回の選挙にあたり、各党が高齢者の就労支援、生涯現役、社会保障といったテーマに関連するどのような公約を掲げているのか、簡単にまとめてみました。短期で、十分に議論が尽くされていなかったり、高齢者については、何も書いてなかったりというような党もありますが、下表をご覧ください。

政党名	高齢者に関連する政策等の記載概要
自民党	<p>「所得拡大・生産性向上」の項目に</p> <ul style="list-style-type: none">・ 仕事と子育ての両立を図り、いわゆるL字カーブと男女間賃金格差の解消を含む女性の活躍や、高齢者、障害者、若者、フリーランスの方など多様な人材の就業・活躍を支援し、ハラスメント対策を推進します。 <p>「社会保障」の項目に</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「攻めの予防医療」の推進を通じて、健康寿命の延伸を図り、皆が元気に活躍し、社会保障の担い手になっていただけるよう取り組みます。・ 頼れる身寄りがいない高齢者等が安心して住み慣れた地域で暮らせるような支援 <p>「文化・スポーツ」の項目に</p> <ul style="list-style-type: none">・ 生涯にわたるスポーツの継続を支援し、生涯健康を土台に人材の能力を最大限発揮させることで、人材一人ひとりの生産性向上と社会保障費抑制を図り、経済成長を支えます。・ 社会のデジタル化や高齢化などに適切に対応し、消費者の安全・安心を守るため、消費生活センターの機能強化や見守り活動の活性化など地方消費者行政の充実・強化や、消費者教育の充実、消費者と事業者との協働などを進めるとともに、消費者法制度の在り方の見直しに取り組みます。

<p>中道改革連合</p>	<p><健康、安心の医療・年金>の項目に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低所得の高齢者の年金に一定額を上乗せ給付します。 <p><高齢者、介護支援、障がい福祉>の項目に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつまで働くかは自分で決める社会へ「定年廃止」を目指します。 ・ 在職者齢年金を見直すとともに、ハローワーク等のマッチング強化など、高齢者が働きやすい環境を整備します。 <p><選択肢と可能性を広げる包摂社会の実現>の項目で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の無償化拡大と質の向上、ならびに社会人・高齢者を含む学びなおし・リスクリングの制度的保障など「人への投資」の拡充
<p>日本維新の会</p>	<p><社会保険料を下げる改革>の項目で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の医療費窓口負担については、現行の「9割引」から原則「7割引」へ、現役世代と同じ負担割合とすることを目指します。 ・ 女性や高齢者が働きやすい社会環境と働くことにメリットの多い制度設計により、保険加入者を広く増やします。受給期間調整や第3号被保険者制度の見直し等により、社会保障制度を「就業促進型」へ転換します。 ・ 在職者齢年金制度やシルバー人材センターにおける就労制限に関する運営の見直し、インターバル規制などのシニア向け労働法制の整備により、高齢者の労働意欲を削がないような社会づくりを目指します。
<p>国民民主党</p>	<p><年齢ではなく能力に応じた負担>の項目で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康寿命の伸長や高齢者のライフスタイルの多様化を踏まえ、後期高齢者の医療費の自己負担について原則を2割、現役並所得者を3割にします。また、「現役並所得」の判断基準について、従来の年金所得・就労所得に加え、金融所得、金融資産等の保有状況を反映させることで、世代間の支え合いに加え、世代内での支え合い機能と公平性を高めます。 ・ 現役世代の社会保険料負担(天引き)の内、およそ半分を占める高齢者医療制度(後期高齢者拠出金、前期高齢者納付金)や次世代に対する支え合い分について、本来の制度趣旨を鑑み、現役世代だけではなくあらゆる世代が負担する公費投入を行います。
<p>参政党</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「長生きすること」を心から幸せと感じられる社会を実現する。 <p>主な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「65歳以上を高齢者」とする定義の見直し。元気で働くことを希望される方を積極的に活用することで、個人も組織も社会も、そして社会保障財政も活性化。 ・ 人生100年時代に向け、高齢者が年齢を問わず活躍できる環境を整備する。 ・ 働く意欲を低下させず、生活の安心感の向上につながる年金制度への改革(在職者齢年金の廃止等)。 ・ 年齢や勤務場所によらず活躍できる労働環境整備に係る企業の投資を支援(生成 AI、ロボティクス、高速通信網等への投資に対する税制優遇等)。 ・ 高齢者雇用安定法の強化により、現在の仕事の継続(定年延長や継続雇用等)の他、社会貢献事業での就業を強力に推進(企業による農業法人設立と雇用の確保等)

<p>日本共産党</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 物価・賃金に応じた年金の引き上げ、介護の危機打開、医療の改悪阻止をすすめ、高齢者の人権と尊厳を守るため力をつくします。 • 高齢者いじめの医療費負担増をやめさせ、負担の軽減、医療体制の整備・拡充を行います • 医療費の70歳以上の窓口負担は、一律1割に引き下げ、将来的には“窓口負担ゼロ”の医療制度にします。 • 高齢者に負担増と差別医療を押しつける、後期高齢者医療制度を廃止します。 • 「住まいは人権」の立場で、住居費用の負担が大変な高齢者や、病気・要介護のためにこれまで住んでいた住居に住み続けられなくなった高齢者が、低廉な費用で質の確保された住宅に居住できるようにする支援を強めます。 • 高齢者の就業・雇用・賃金にかかわる権利を守ります 雇用継続や再雇用を望む高齢者に対し、賃金ダウンや待遇悪化を進める制度改悪に反対します。高齢者の雇用と賃金を守るため、アメリカやEUで実施されているような、「年齢による差別を禁止する法律」(仮称)の制定をめざします。 • 高齢者が各々の意欲と能力にふさわしく働ける環境を整備するとともに、年金など社会保障の拡充で、“高齢者が無理をして働かなくても暮らしていける社会”にします。
<p>チームみらい</p>	<p>政治の課題として取り上げられているのは『どう再分配するか』の話ばかりで『どう成長するか』の議論は不足しています。現在の税制、基礎控除、医療費、年金問題などの議論はどれも成長を生み出す話ではありません。もちろん、再分配は非常に重要な話ですが、長期の成長戦略が描けていないことは大問題です。成長がなければ再分配の原資は得られません。(実際にはチームみらいのHPでは高齢者という言葉は一回も出てきていませんでした)</p>

ちなみに、上記の表は私(村関)が、半日程かけて、各政党の公約・政策をHPで読み込んで、整理したものです。

これを最近はやりのGoogle Chromeで、ChatGPTを利用して、

「2026年2月の衆議院選挙での各政党の、「高齢者」に関する政策を抽出して、政党ごとに整理し、Wordに表を作成してください。」と聞いてみました。すると、

2026年2月8日に投開票が行われる第51回衆議院議員総選挙において、各政党が掲げている高齢者向け政策をまとめました。

今回の選挙は「高市内閣」による解散を受け、物価高対策や社会保障制度の持続可能性が大きな争点となっています。

という文章のあとに、下のような記述が1分もかからず、出てまいりました。私の記載と比べてのご感想はい

かがでしょうか。(Word の表は自動では作ってくれませんでした。作り方を教えてください。)

政党	高齢者・社会保障に関する主な政策内容	出典
自由民主党	医療・介護のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、効率的で質の高いケアを実現。年金受給世代の生活を守るための物価高騰対策の継続。	自民党公約 2026
中道改革連合（立憲・公明）	低年金者への給付金加算や、医療・介護従事者の処遇改善による「安心の確保」。選択的夫婦別姓の早期実現など多様な家族の形態を支援。	TBS NEWS DIG
日本維新の会	社会保険料の負担軽減を目指し、現役世代の可処分所得を増やす改革を提唱。医療費の自己負担割合の適正化など、制度の抜本的な持続可能性を追求。	日本経済新聞
国民民主党	75 歳以上の医療費窓口負担を 1 割に戻すことを主張。介護保険料・利用料の減免。年金引き下げに反対し、最低保障年金制度の創設を提案。	朝日新聞
日本共産党	「103 万円の壁」見直しなどによる現役世代の支援と並行し、後期高齢者医療制度の負担バランスを調整。インフレ率に連動した年金の適切な改定。	MBS ニュース
れいわ新選組	「最低保障年金月 10 万円」の実現を掲げる。介護・医療費の本人負担の大幅軽減により、老後の不安を解消する「徹底した底上げ」を主張。	TBS NEWS DIG
参政党	過剰な医療・介護を抑制し、食の安全や予防医学を推進することで健康寿命を延ばす。現行の社会保障制度の維持ではなく「健康」を軸にした変革。	参政党公約

■社会保障に関しては、後期高齢者に対する医療費負担を上げる、下げるといったところに、各党の違いが見られます。高齢者にも、働いて活躍してもらおうという趣旨を掲げている政党もありますね。

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』のご紹介

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED) が発行する高齢者雇用の総合誌「エルダー」に関する情報は、下記の URL からご覧いただけます。

啓発誌「エルダー」 | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 (jeed.go.jp)

1 月号では、特集として、「年金」が取り上げられています。

<https://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/202601.html>

- ・年金入門
 - ・新しい時代の年金制度とライフプランニング
 - ・2025 年年金改革の概要
 - ・人事担当者のための年金 Q&A
- 等が取り上げられています。

2月号(本日 2/2 出版)では、以下のような項目が取り上げられています。

<https://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/202602.html>

- ・ 65 歳になったら食生活の見直しを行い、メタボ予防からフレイル対策にギアチェンジ
- ・ フレイル・サルコペニアの予防が重要 60 歳になる前から健康“貯筋”を
- ・ 食生活を見直し体重・筋肉の維持・増加を～ 特に重要なのは肉・魚などから摂るタンパク質
- ・ シニア世代の健康の維持・増進に向け職場でできる支援の拡充を

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.genomics.org/>

◆◆◆

配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒101-0021 千代田区外神田 3-6-4 OSビル 5F (株)高齢社内 HP: <http://www.genomics.org>